

オリンピックは中止し、コロナ対策に全力を

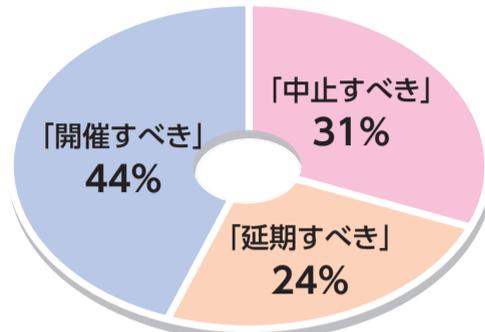
安全・迅速なワクチン接種、PCR検査抜本拡大、自粛と一体の補償を

第2回定例会の本会議で牛尾まさみ議員は、日本共産党区議団を代表して、「東京オリンピック・パラリンピックに固執して開催を強行すれば、感染爆発を起こしかねず、命を危険にさらす」として、大会の中止を国や都、IOCに求めるとともに、区として聖火リレーやパブリックビューイングを中止するよう、区長に迫りました。

また党区議団は、立憲民主党、れいわ渋谷などとともに、五輪東京大会の中止・延期を求める意見書（案）を提案しました。

東京オリパラ、中止・再延期の声ひろがる

中止・延期が過半数に



6月7日、JNN世論調査より

中止求める署名41万人に

日本弁護士連合会元会長・宇都宮けんじ氏が呼びかけた「東京五輪の開催中止」を求めるオンライン署名は、41万人に達しています。



子どものオリパラ大会「観戦」動員やめよ

東京都は、81万人もの子どもをオリパラ大会の観戦に動員しようとしています。渋谷区は、8月25日から9月5日の予定です。子どもを感染と熱中症の危険にさらすことは絶対に認められません。観戦動員は中止すべきです。



政府分科会会長「(五輪)普通はない」

尾身茂新型コロナ対策分科会会長は、オリパラ大会やパブリックビューイングについて「人流が増えて人々の接触の機会が増えるので感染が増加するリスクがずいぶんある」と感染拡大の危険性を指摘。

(宮本徹日本共産党衆議院議員の質問への答弁)

高齢者にやさしく、だれひとり取り残さない 安全・迅速なコロナワクチン接種を

高齢者を対象にコロナワクチンの接種が行われていますが、当初は「電話が通じない」「並んでも予約できない」など、オンライン以外の予約は困難をきわめました。

インターネットを利用できない、支援者がいないなど、希望しても接種できない高齢者を置き去りにすることは許されません。

党区議団は、地域で希望者全員が接種できるよう支援活動を行うとともに、本会議で区長に対して改善の提案を行いました。



コロナワクチン接種を行っている区内の診療所

ワクチン接種・予約の改善を提案

- ①出張所などに身近な予約窓口を設置、毎日相談・予約を可能に。
- ②地域包括支援センターの職員を増員し、予約していない高齢者への支援を。
- ③身近な場所で接種できるよう、北西部などの集団接種会場の接種日を増やし、医療機関への独自の支援で個別接種会場も増やす。
- ④外出困難者へのタクシー代支援、訪問接種などを準備し、早期に周知する。

コロナワクチンなど

お困りの方は、なんでもご相談ください ☎03(3463)1038

日本共産党
渋谷区議団



いがらし千代子
福祉保健委員、
自治権確立特別委員長



牛尾まさみ
区民環境委員、
交通公有地特別委員会
副委員長



田中まさや
総務委員、
多様性社会推進
特別委員



トマ 孝二
文教委員、五輪・
パラリンピック対策
特別委員

日本共産党
渋谷区議団ニュース

2021年6月号
渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所内
TEL 3463-1038 FAX 5458-4963

日本共産党渋谷区議団へのご意見・ご要望を、
ぜひお寄せください。
●ホームページ <http://www.jcp-shibuya.jp>



財政削減・もうけ優先の独立行政法人化ストップ 広尾病院など都立・公社病院の存続・充実を

小池都知事は、広尾病院をはじめ14の都立・公社病院を独立行政法人化して、都の予算を削るとともに、「稼ぐ医療」として、海外の富裕層のための「医療ツーリズム」に対応する病院に変えようとしています。

独立行政法人になれば採算のとりにくい感染症などの医療は大きく後退し、住民が必要とする医療も受けにくくなります。

東京のコロナ病床の4割を担っている都立・公社病院の独立行政法人化をストップさせましょう。



地方独立行政法人化すれば…

いのちを優先する病院

【都立病院の役割】

「採算の取れない医療や地域に不足する医療などの行政的医療（小児医療、精神科医療、感染症医療など）を提供」（東京都ホームページより）



予算削減・「稼ぐ」病院へ

独立行政法人化した病院では、差額ベッド代や10万円もの入院保証料を取っています。さらに、東京都は、来日する海外の富裕層のための病院に変えようとしています。

「五輪のため」「外国人観光客呼び込み」の理由は完全破綻 羽田空港新飛行ルートは直ちに中止を

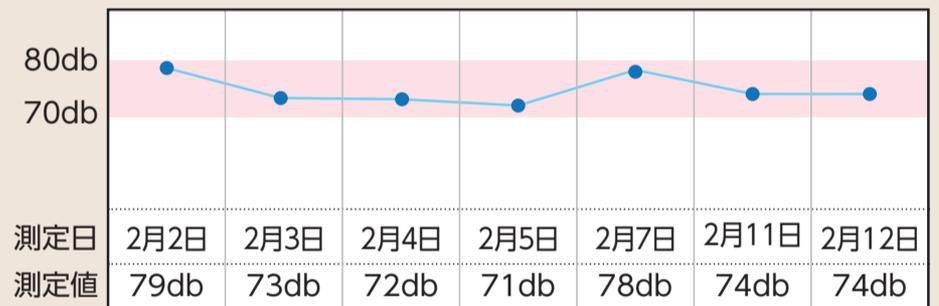
毎日住民の頭上を低空飛行する羽田空港新飛行ルートに対して、区民から「アメリカのコロラド州の事故で落下物がますます心配に」「減便で必要ないのになぜ飛ぶの?」との怒りの声が上がっています。

そもそも、「五輪のための羽田増便」「外国人観光客呼び込み」という口実はコロナで完全に破綻しています。区民の命を危険にさらす都心低空飛行ルートは直ちに中止させましょう。



「幹線道路並みの騒音」に悲鳴!

羽田空港新飛行ルート・広尾中学校の騒音測定値(最大騒音レベル)



※70~80dbは、幹線道路、掃除機、騒がしい街道並みの騒音。

● コロナに苦しむ中小業者・文化・芸術への支援を ●

持続化給付金などの再支給と区独自の固定費支給を

トマ孝二議員は、緊急事態宣言が再延長される中で、苦境にあえぐ中小業者、文化・芸術活動家の声を取り上げ、持続化給付金・家賃支援給付金の再支給を国に求めるとともに、区として家賃・固定費の支援、文化・芸術団体や生業にしている区民への支援を求めました。



区民から切実な声

困った人に寄り添い、支援することが政治の責任

- アルコール提供の中止と午後8時までの時短営業で、お客がピタリと来なくなった。まったく商売にならない。
 (区内の寿司店)
- 俳優はもとより、舞台照明などのスタッフの収入は皆無となっており、暮らしを守るためにアルバイトを探してもなかなか見つからない。
 (区内劇団の俳優)